

# 「家を買う タイミング」 がよくわかる本

あなたの  
買い時はいつ？

買い時が分かる  
チェックシート付き

家を買うことは人生の一大イベント。  
タイミング次第で得することも損することもあります！

## 「今が買い時」そう言われると…

- 安い物件にはワケがある？
- 家賃とローン どっちが得？
- 退職後に家は買えない？





**「家を買うタイミング」がよくわかる本**

## 〇はじめに～本書の上手な読み方

「できることなら注文住宅でマイホームを実現したい」というあなたの夢を、“実現したい”から“実現へ”とマイホームの取得をサポートするのが、本書です。

はじめての家づくりは、「どこに頼んだらいいの?」、「お金はいくら必要?」、「住宅ローンは?」など、何から始めたらいいのか戸惑うものです。一生に一度の大きな買い物と言われる家づくりですから、疑問や不安もたくさんあるのではないのでしょうか。

その中で、だれもが願うのは、「悔いのない家づくりをしたい」ということだと思います。

家づくりは、夢を膨らませ、思い描き、新居での家族の暮らしを想像し…、と楽しいものです。その一方で、依頼から竣工まで1年近くを要し、様々な場面で、選択や決断を迫られるのも家づくりなのです。

でも難しいことはありません。楽しい家づくりになるかどうかは、実は、あなた次第なのです。

家づくりのコツやポイントがわかると、安心してスムーズに家づくりを進めることができます。家を買う時期は、自分にとってベストのタイミングがわかれば心配ありません。本書では、疑問や不安を解消しながら、理想の家づくりのために欠かせない、「家を買うタイミング」のコツや要点をまとめています。

家を買うことは人生の大仕事。慌てず、しかしチャンスは逃さず捕らえたいものです。本書で「家を買うタイミング」のコツや要点をしっかりと押さえて、疑問や不安は早めにスッキリ解消しましょう。そして、安心して、家づくりを楽しみながら、納得のいくこだわりのマイホームを実現してください。

トシ企画インテリア株式会社

## 目次

○はじめに～本書の上手な読み方	・・・ 4
○目次	・・・ 6
○「今が買い時」そう言われると……	・・・ 8
○安い物件にはワケがある	・・・10
○条件の合う土地との出会い	・・・11
○ライフプランの見通しがつくか？	・・・12
○結婚と同時に	・・・14
○子供が生まれるときに	・・・15
○子供の入学に合わせて	・・・16
○40歳を前に	・・・17
○娘さんを新居から嫁がせたい	・・・18
○老後の暮らしをイメージして	・・・19
○迷ったときはどうする？	・・・20
○家賃とローン どっちが得？	・・・22
○自己資金の目安は？	・・・23
○他のローンを整理してから	・・・24
○仕事を変えないとローンを組めない？	・・・26
○頭金ゼロでは無理？	・・・27
○退職後に家は買えない？	・・・28

## 目次

○転職したばかりなんですが……	・・・29
○現金はいつ、いくら用意すればいいか	・・・30
○家はいつ買うべきか	・・・31
○十分な勉強が大切	・・・32
<b>【家の買いどき チェックシート】</b>	・・・34
○おわりに～迷わずに“相談”を	・・・36

## ○「今が買い時」そう言われると……

いつの時代、どの商売であっても、物を売る側は売ることに生活をかけています。従って、買う側と同じくらい必死だと考えるべきです。

「〇〇の優遇措置は今年中に着工しないと無効になります」

「すぐに手付金を払わないと、別のお客様が手を挙げればそちらに回ってしまいます」

「〇月〇日までに契約すれば、減税期間が長くなります」

営業担当者の言葉は、決して嘘ではありません。

それだけに、「今すぐ買わないと大損をするのではないか」と迷ってしまうのは人情です。

しかし、少し冷静になりましょう。仮に慌てて土地を買ったとして、そこに建てる家は決まっていますか？土地によって、建てられる家は制限されることがあります。地盤や環境など、周囲の状況も時間をかけて見極めないと、本当に満足できる土地かどうかはわかりません。

その土地を買うためのローンで、無理をする可能性はありませんか？能力を超えたローンを組めば、数年後に返せなくなって買った不動産を安値で売却し、さらにローンが残るなどということにもなりかねないのです。

揺れた心では、冷静な判断ができないことがあります。

今は多少の損になるとしても、後々になって生活を破綻させるような事態を招くよりはずっといいはずですよ。

○月 予定表	
1	_____
2	_____
3	_____
4	_____
5	特別控除×切
6	_____
7	減税期間ここまで
8	_____
9	_____
10	販売期間終了
11	_____
12	_____
13	_____
14	_____



それは本当にお得になりますか？ あわてず冷静に検討しましょう。

## ○安い物件にはワケがある

購入を焦ってしまう状況として、思わぬ安値で手に入りそうな物件が見つかった、という場合があります。

「この条件の土地が、この価格で出ることはありませんよ」

そんなふうに言われると、素人としては心が揺れてしまいますね。抑えられる部分では出費を抑えて、家の他の部分に回したい。少しでもローンを軽くしたい。そう考えるのは当然のことです。

しかし、どんな買い物にも言えることですが、物の値段には全て「ワケ」があります。同じ地域、同じ面積の似たような物件に比べて明らかに安いという場合、そこには何かの理由があると考えべきです。

土地が変形している(長方形でない)、地盤が弱い、お墓が近い、下水道などが通っていない、過去に事故が起こっている、隣地との境界に大きな段差があるなど、値段を下げなければ売れない何らかの事情があるはずです。不動産会社によく尋ねるだけでなく、実際にその場所へ出かけて周辺の状況をよく調べるのが大切です。

物件の欠点が変わえられないものである場合、いずれその物件を転売しようと考えたときに、安値でしか売れないことも覚悟しておく必要があります。

最終的に格安物件を買うとしても、その価格を実現した理由はきちんと理解し、納得しておきましょう。理由が許容できるものであれば、まぎれもなくその物件はあなたにとって絶好の掘り出し物と言えるでしょう。

## ○条件の合う土地との出会い

家を買うタイミングを決める大切な要素に、条件の合う土地との出会いがあります。

どんな家をつくるか、新しい生活がどういう暮らしになるか、その大きな部分を決定するのが土地です。しかし売り地として市場に出てくる土地は多くはありません。うまく希望する条件に合う土地に出会えるかどうかは、ほとんど運とも言えるでしょう。

不動産会社で土地を探すにあたっては、より条件に合った土地を見つけるために、心がける点があります。

### ・いい物件があれば、すぐにでも契約したいと伝えること。

不動産会社の社員は歩合制であることが多いので、すぐに売り上げにつながる顧客は後回しにされる傾向があります。

### ・こちらの条件は、できる限り詳しく伝えること。

想定している家の間取りから考えた広さ、子供が小さいので環境のいいところがいいなど、希望する条件は詳細に伝えましょう。

### ・マイナスになりそうな条件も正直に伝えること。

今住んでいるマンションが売れないと購入できないなど、契約のハードルとなりそうなこともあらかじめ伝えておいたほうが、後で行き違いにならずに済みます。

今はどの不動産会社でも同じ情報を閲覧できるシステムがあります。しかし、会社によってはシステムに載らない物件を持っている場合がありますので、持っている情報を出してもらうためにも、担当者との信頼関係をしっかり作っていきましょう。

## ○ライフプランの見通しがつくか？

誰にとっても家の買い時ではない時期、というものもあります。

それは、ある程度先の人生設計が定まっていない段階です。子供は何人くらいいるか、お年寄りと同居する可能性があるか、夫婦はどれくらいの期間働けて、どれくらいの収入が見込めそうか。

そういったことが大まかに予測できていない段階では、どんな家をつくるか、そこにどれくらいのお金をかけられるかが見えてきません。

家を買えば、普通は10年20年とそこに住み、ローンを支払い続けなければなりません。もちろんリフォームも可能ですが、費用も相応にかかりますから、ローンを支払いながら大規模なリフォームをするのは大変なことです。

ですから、家をつくろうと決める段階で、ある程度将来までの見通しがついている必要があります。

その見通しをつけられる時期は、人によって違うもの。結婚するとき、先のことまで見越せる人もいれば、子供が生まれるとき、子供が就学するとき、両親との同居が決まったとき、そして自分が定年退職するとき、ということもあります。

人生がみんな違うように、家づくりのタイミングも人によって違います。人と比べる必要はありません。自分の家族や暮らしに合ったタイミングを見極めましょう。



## ○結婚と同時に

新婚の若い二人が新居をつくることは、まさにこれからの暮らしの夢を描くことと言えるでしょう。

若い人には資金面で無理があるようにも思えますが、家を買わなかったとしても、新生活には何かとお金がかかります。賃貸でアパートなどを新しく借りると、家賃2ヶ月分、敷金2ヶ月分、礼金1ヶ月分程度の現金が必要です。

加えて引っ越し費用、結婚式や新婚旅行と物入りであることから、いっそのこと「今、家を買おう」と考える人は意外と多いのです。

できあいのアパートに入るとなれば、それに合わせた家財道具も必要になりますが、家づくりをするなら収納で工夫をするなど、家具を減らすこともある程度可能です。

親が所有している土地がある場合などには、家づくりの追い風となります。これから結婚、そして新生活というタイミングで、家づくりについて少し考えてみるのもいいでしょう。

## ○子供が生まれるときに

結婚してからしばらくは賃貸で暮らし、夫婦の生活スタイルがある程度確立して、子供が生まれるという時期に合わせて新築を考えるケースもあります。

子供が生まれると、それまでの夫婦二人の生活とは大きく変わります。夫婦は両親となり、そこに子供がいることで、家に求めるものもまったく違ってくる時期です。

男性は子供を持つことで責任感も増し、借金をしても家をつくろうという意志が固まる、ということもあります。

また、子供がまだ小さい数年は忙しくなり、家づくりどころではなくなるかもしれません。特に母親である奥様の負担は大きく、小さな子供を抱えて、週末ごとに住宅会社や銀行を回るのは大変です。

生まれてくる子供のための家づくりは、両親としての最初の仕事になります。家族の未来を思い描き、じっくりと話し合ってみてください。

## ○子供の入学に合わせて

家づくりのタイミングとしてもっとも多いのは、子供が小学校に上がる時期に合わせる、というケースでしょう。

いずれ新築するなら就学に合わせて、と考える人が多いのは、子供を小学校の途中で転校させたくないと思うためです。

転校させずに小学校の途中で家づくりをするためには、学区内で物件を探さなければなりません。かなり範囲が限られてしまうことになり、条件も限定されます。

転校は子供にとっては大事件です。家が変わることより、学校が変わり、友達や先生が全て入れ替わってしまうことのほうがずっと大きな事件かもしれません。

子供に転校の苦勞をさせたくないと思う親心から、就学のときに小学校選びも条件に含めて土地を探し、家づくりに踏み切る人が多いことになるのです。

## ○40歳を前に

一家の主な働き手である男性が40歳を迎えつつある頃、それまではあまり真剣に考えていなかった家づくりについて、急に乗り気になることがあります。

40歳といえば、定年まであと20年。仕事の上でも、家庭人としても脂ののった時期であり、ある程度この先の人生の見通しもついてきます。

そのため、家をつくる上でも資金の面でも、このタイミングで決断する場合があります。持ち家を建てた途端に転勤になった、という話はたまにありますが、単身赴任となることを覚悟しても新築に踏み切りません。

子供の学年はさまざまで、大きい子供なら転校しなければならないかもしれませんが、そのかわり子供も家づくりに参加して、家族の話し合いが弾むことでしょう。

40歳前後は、子供の教育費などで出費が増えている時期でもあります。このような時期に家づくりをする場合には、月々のローンの金額・返済期間と自己資金のバランスをよく検討した上で、どのくらいの家を買うか決めることになるでしょう。

## ○娘さんを新居から嫁がせたい

50代となり、子供たちはすでに就職していて、娘さんの結婚を控えて新築したいと思われるケースもあります。

親心というものは、子供が何歳になっても変わりません。

何十年来暮らしてきたマンションや賃貸住宅からではなく、新しい家から娘を嫁がせたいと願う気持ちは切実なものです。

娘さんが嫁いだ後、夫婦二人の新しい生活を始める場として、新居を計画されるといいでしょう。

50代で家を買う人は、自己資金の割合が多いことがほとんどです。中には早期退職で得た退職金を充てるというケースもあります。

自己資金が多ければ、ローンはほとんど必要としません。従って、何十年も金利を払わなくて済むという考え方もできますね。

## ○老後の暮らしをイメージして

子育て中は家づくりのタイミングがつかめず、とうとう定年を迎えてしまうというケースもあります。

定年を迎えてからローンを組むという人はあまりおらず、退職金で買うか、あるいはそれを機に子供の一家と二世帯住宅をつくり、子供と一緒に支払う形にすることがほとんどです。

老後につくる家は、若い人の家づくりとはまた違う楽しみがあり、夢があるものです。夫婦でゆったりと過ごす空間を大切にしたり、お孫さんが思う存分遊べる庭を用意したりすることは、若いときとは違う喜びをもたらしてくれます。

人生経験を積んできた年齢だからこそ、情報に踊らされず、身の丈に合った選択をします。迷わずに落ち着きがあることも、老後に家をつくることのメリットと言えます。

現代では定年してからの人生は長く、まだまだ老後と言えないほど心身が若い人も大勢います。充実した毎日を過ごせるような家づくりを、思う存分楽しんでください。

## ○迷ったときはどうする？

家が欲しい、けれどあれこれ迷ってしまってどうしても決断できない、今がそのときかどうかわからない……。

そういう状態であれば、すでにある程度の情報を集めているはず。そして、集まった情報や付き合っている住宅会社が、どうも決め手に欠けているのかもしれない。

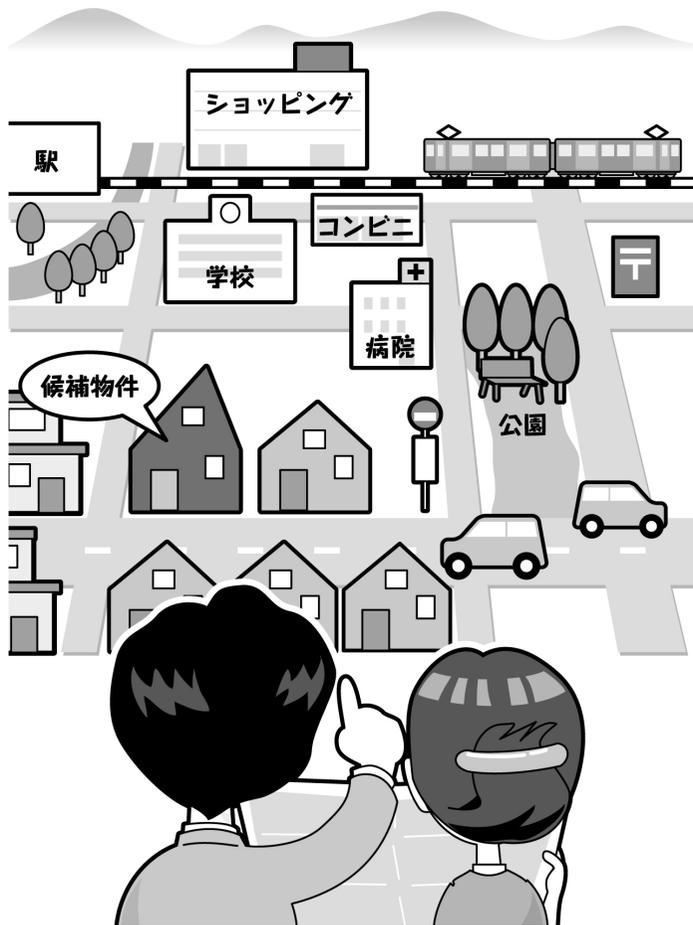
そこで、少し目先を変えてみましょう。

候補となっている物件を、価格と広さとエリアだけで決めていませんか。実際に出かけて、周辺を十分に歩いてみましたか？

その地で10年20年と生活することをイメージしてみましょう。年を取れば、誰もが体のどこかに何かしら問題が出てきます。そのとき、あまりきつい坂道や階段の上り下りがある場所では、外出が億劫になるかもしれません。

家にいる時間が長い奥様には、日当たりのいい南面の土地であることが絶対条件になるかもしれませんし、子供がいれば、小学校は近くても数年後に通う中学があまり遠かったら心配ということもあります。

広告や不動産会社の説明だけではわからない、自分の目と肌でしか感じとれないことを感じてみましょう。



実際に出かけてみましょう。

## ○家賃とローン どっちが得？

家賃を払い続けるくらいなら、いっそ持ち家を買ってローンを払うという考え方があります。

結婚して賃貸のアパートに入り、それから子供が生まれて、15年ほど経つと、子供は小学生か中学生になっています。

子供が個室を欲しがらるだけではなく、体も大きくなってくれば、アパートは手狭に感じます。そこで、3LDK程度の借家を借りたいと考えたとしましょう。

実は、このように部屋数の多い賃貸物件は、アパートに比べて数が少ないのです。面積に対する家賃収入が少なくなるため、大家さんの立場に立てば、アパートのほうが効率がいいためです。

ここまでの15年間、たとえば5万円の家賃を払い続けていたという場合、家賃だけですでに900万円を支払ったこととなります。入居時の敷金・礼金、2年ごとの更新料などを含めれば、さらに大きな金額となります。もし家賃が10万円なら、1800万円。シンプルな造りなら、一軒家を買える金額です。

この金額を払い続けたために貯蓄もできないまま15年を過ごし、その時になって、最初から家をつくれれば良かったと思う人もいます。

若い頃からしっかりと人生設計をする人の場合、少くも未熟なところがあっても、ともかく今のうちに家を建てようと思えることが多いようです。

## ○自己資金の目安は？

家をつくるために必要なお金は、工事費だけではありません。

家づくりの予算は、自己資金＋借りる金額(住宅ローン)となります。ローンは後から払うお金、自己資金は家ができるまでに必要となるお金と言えます。

「家ができる前なのに、そんなにお金が必要なんですか？」

そう尋ねる人もいますが、相当の金額を用意する必要があります。

一般的に家にかかる費用は、予算全体の中で下のような内訳となります。

本体工事費 : 70～80% (建物自体にかかる工事費用)

別途工事費 : 15～20% (ガス・駐車場・外構などの工事費用)

諸費用 : 5～10% (登記費用・手数料など)

つまり、家そのものには予算全体の8割程度しかかけられないということになります。

また、予算が3000万円として150万円～300万円もの諸費用を見込んでおいた方がいいこととなります。意外と大きな金額で、驚かれるかもしれません。

最低でもこれくらいの手持ち資金が用意できてから、家の計画を具体化するべきであるといえます。

## ○他のローンを整理してから

住宅ローンを借りるに際しては、審査があります。返済能力があるかどうか、金融機関によって信用を試されるのです。

自分ではごく普通の生活をしているつもりでも、この審査に通らないケースがあります。

- ・車のローンや教育ローン、クレジットカードを使ったローンでお金を借りている
- ・過去に他のローンの返済を滞らせたことがある
- ・使わないクレジットカードを何枚も持っている
- ・税金を滞納している

これらの状況がある場合、少し注意をして、審査の前によく相談をしましょう。

現金を持ちたくないとか、金額が記録にはっきり残って便利などの理由で、生活費のかかりをほとんどクレジットカードで済ませているような人もいます。支払いが遅れていないかどうか、きちんとチェックしてください。

ただし、クレジットカードの名義がローンを申し込む人とは違う人、たとえば奥様などであった場合には、基本的にローンには影響しません。

車のローンや教育ローンを借りていても、きちんと返済していれば、住宅ローンを借りるのに支障はありません。

お金の管理をしっかり見直して、ローンの審査に支障がないと判断してから、家づくりを具体的に始めましょう。



お金の管理をしっかりと見直してみましょう。

## ○仕事を变えないとローンを組みめない？

ローンの審査を受けるに当たって、残念ながら少し不利になる会社や雇用形態があるのは確かです。

以下のようなことはありませんか？

- ・勤めている会社の経営状態が悪い
- ・雇用形態がアルバイト、派遣、自営、フリーターなどである
- ・転職を繰り返している

これらの条件で審査が厳しくなる理由はただ一つ、返済が滞るのではないかと思われてしまうからです。

金融機関が評価する勤続年数は、以前は3年程度でしたが、現在は1年くらいでよいとするところが増えています。勤続年数よりも、安定した収入、支払い能力を見ているわけです。

ですから、収入や将来性を裏づけるような材料があれば、それはきちんと提示しましょう。派遣で働いていても、専門性が高い、同じ会社に長く勤めているなどをアピールすれば、プラスに働くことがあります。

自営業も収入が不安定と見なされて、不利な場合があります。数年分の確定申告書を提出しますが、中に1回でも赤字申告した内容があれば、それだけで審査を通らないことも。

自分の仕事がローンに不利ではないかと考えるなら、家づくりの計画の前に金融機関や住宅会社に相談しておきましょう。あとどれくらい実績があれば借りやすいかというアドバイスをもらえることがあります。

## ○頭金ゼロでは無理?

「自己資金ゼロの家づくり」

「頭金がなくてもご相談ください」

資金が足りないから家を買うのはもう少し後と思っけていても、こんな  
謳い文句を見ると、気持ちがぐらつくことも。

本当に自己資金が全くなくても家を買えるのでしょうか。

ローンのみでいえば、確かに頭金がゼロでも借入れが可能な場合  
はあります。しかし家づくりのためにかかるお金はローンだけではありません。

契約前後には登記費用や手数料など、諸費用が現金で必要となり  
ます。物件価格によっては諸費用だけで100万単位となることもあります。  
住宅ローンの頭金以前に、諸費用分としてまとまった現金が必要  
なのです。

また、頭金ゼロでローンを組めば、当然その分を後から支払うこと  
になりますし、金利は高めになることもあります。ローンは一般的に手取り  
収入の28%以内(借入れ全体では30~35%以内)が適正と言われて  
ています。

支出は住宅ローンだけではありません。年々かさむ教育費や、急な  
出費に備えた余力も残しておくべきです。

無計画にローンを組んだために生活全体の質を下げるようなこと  
にならないよう、まずは自己資金を用意する必要があります。焦らず、き  
ちんと貯蓄しながらその時を待ちましょう。

## ○退職後に家は買えない？

住宅ローンは一般的に30年、35年と支払うものです。従って、50歳を越えて定年した人には借りにくいような気もします。

実際のところはどうかのでしょうか。

団塊の世代が一斉退職した時代を迎え、退職金と貯蓄で自己資金に余裕のある人の中には当然、これから家を新築したいと考える人もいます。

そこで各金融機関では、従来の住宅ローンのみならず、シニア世代が借りやすいローンを開発しています。

返済期間30年以内、50歳以上の人だけが借りられるローンなどというものもあります。いろいろな金融機関をあたって、情報を集めてみましょう。

すでに仕事をリタイアしていても、それまで20年30年と働いてきたことが、実績としてローン審査の際の評価につながります。

また、親子2代で支払う親子ローンというものもあります。2世帯住宅を建てたり、つくった家をいずれ子供に譲ったりする場合には、この返済方法を検討してみてもいいでしょう。

退職後にもたくさんの選択肢があります。諦めず、家族や金融機関によく相談して、あえてこのタイミングでの家づくりに踏み切ることは十分に可能です。

## ○転職したばかりなんですが……

ローンの審査は、前述したように、収入の安定性を重く見られます。

転職したばかりということは勤続年数はほとんどないということになり、多少不利な条件となります。

しかし、絶対に借りられないというものでもありません。

転職からまだ日が浅くても、以前の仕事よりも有利な条件で転職した、ヘッドハンティングされた、会社は変わっても職種は一貫しているなど、安定感を印象づける材料を用意しましょう。

金融機関によっては、転職したというだけで審査が通りにくくなる場合もありますが、逆に勤続年数よりも他の条件を重く評価するところもあります。

もし融資が難しそうなら、他の金融機関をあたってみるのも一つの考えです。

転職したばかりということは、生活が落ち着かない時期でもあります。いい状態で家づくりを考えるために、少し時期を待つのもいいでしょう。

## ○現金はいつ、いくら用意すればいいか

家を買う過程で、意外と負担が大きいのが諸費用です。一度には捻出できないという場合もあるでしょう。

諸費用は、家づくりの過程で少しずつ支払っていきます。たとえば1800万円の土地に2250万円の家をつくったとすると、だいたい以下のようなタイミングでの出費となります。

支払う時期	内容	金額の目安
土地の契約時	土地の手付金	土地代金の1割程度
土地ローン決済時	不動産会社手数料	土地代金の3%
住宅ローン決済後	登記費用	20万円程度
住宅ローン決済後	ローン諸費用	80万円程度
翌年までに	不動産取得税	評価額の3%
適宜	地鎮祭・上棟式費用	任意だが20万程度
入居時	引っ越し費用	10万～15万

これらの他にも、場合によって家具の購入や挨拶回りの品など、何かとお金がかかります。自己資金には余裕があるに越したことはありません。

甘く考えず、できるだけ余裕をもった資金計画を立てるため、計画的な貯蓄から始めましょう。それによって、「○年には300万円貯まるから、ここから家づくりを始めよう」などと見通しを立てることができます。

## ○家はいつ買うべきか

「今買わなければ損をする」

「今すぐにあの土地を押さえないと、二度と出会えない」

そんな情報や営業マンの言葉に心が揺れて、つい無理な契約に判子を押してしまう……そういう人がいることも確かです。

では本当の買い時とは、一体いつなのでしょう？

実は、家を買う時期に一つだけの正解はありません。人それぞれ、家族それぞれの答えがあり、それも一つではないのです。

素晴らしい物件と出会ったとしても、お金がなければ買えません。お金があっても、人生には家づくりどころではない時期が案外長くあるもので、そういう時ならやはり買えません。

ぜひ家がほしい、そして家のために時間と労力を注ぎ込める時期、かつその家を買うために必要な資金が用意できる時期。これらの状況ができる限り近づいた時が、家を買うベストのタイミングです。

したがって、家を買うタイミングを見極めることは、将来を含めた自分たち家族の経済状況、そして生活の変化を見極めることに通じるのです。

## ○十分な勉強が必要

素敵なモデルハウスに惚れ込んでしまった、魅力あるプレゼンテーションをしてくれる営業担当に出会った、同じくらいの収入の知人が一戸建てを建てた……。

そんなとき、「こんな素敵な家を建てたい」「自分たちも家を持てるのではないか」という気持ちが盛り上がってしまうことがあります。

家づくりは夢の実現です。しかし同時に、家づくりに失敗する人がいることも事実です。毎日の暮らしを続けながら大金を支払うことは、どなたの人生にもずっしりとのしかかる重い現実であることは、間違いありません。

そんな家づくりに失敗しないために、自分でできる唯一のことは「**慌てず冷静に状況を見極め、十分に勉強する**」ことなのです。

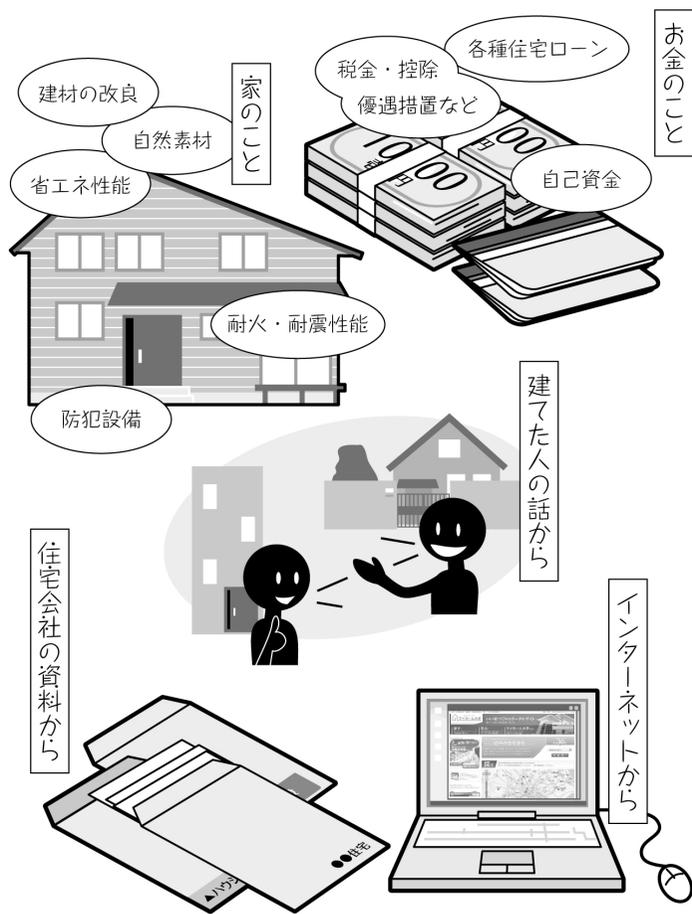
資金のこと、世の中にたくさんある住宅ローン、そして数々の税金や優遇措置。これらは「今年なら優遇が受けられる」などの期限がある場合もあります。

家自体も年々改良が加えられ、省エネ性能や耐震性能、体にやさしい自然素材の家など、さまざまな特徴を持つ家が出てきています。

インターネットや住宅会社の資料、実際に建てた人の話などから偏りなく情報を集め、十分に勉強をしましょう。

家は、買う前に試すことができません。建てたあとに「知らなかった」と後悔することが出てきても、取り返しのつかないこともあります。

なかなか家を買うタイミングがつかめないなら、その時間を情報集めと勉強にあてましょう。その時間は、決して無駄にはなりません。



偏りなく情報を集め、十分に勉強をしましょう。

# 【家のつくりどき チェックシート】

子供の年齢や予定されていること(親と同居など)、わかっている大きな出費をできるだけ詳しく書き出してみましょう。

例: 結婚・アパート入居 家賃〇円  
第一子誕生 保育所月額〇円  
など

年齢

ローンを支払う人の年齢です。

歳

歳

歳

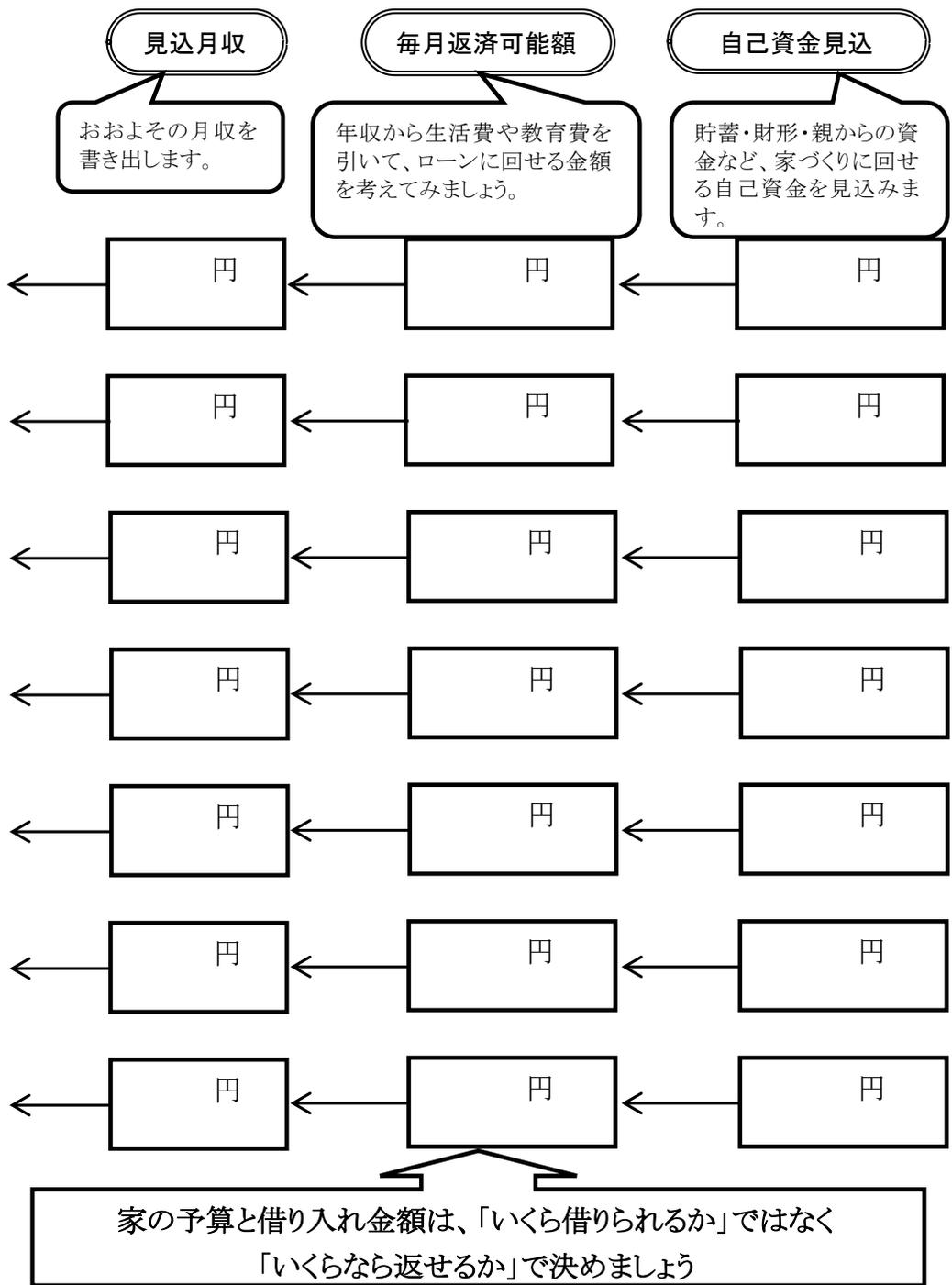
歳

歳

歳

歳

定年退職



## 〇おわりに～迷わずに“相談”を

あとから慌てることのないように、あらかじめ知っておきたい「家を買うタイミング」の疑問や不安はスッキリ解消しましたか？「ここはどうなっているの？」といった疑問や不安があるのなら、迷わずに、当社にご相談ください。わからないことは、すぐに解決することが成功する家づくりの第一歩です。“すぐに相談に乗ってくれる”、“適切なアドバイスをしてくれる”、よいパートナーとの出会いも家づくりでは大切なポイントです。

### ●著者プロフィール

トシ企画インテリア株式会社

「家を買うタイミング」がよくわかる本

---

平成23年8月1日 初版第1刷発行

発行：トシ企画インテリア株式会社  
〒804-0064 福岡県北九州市戸畑区沖台一丁目9-20  
URL <http://www.familyhouse-1978.jp/>

---



「家を買うタイミング」がよくわかる本

家づくりのご質問・ご相談にお応えします

